

子どもたちの生きる力をはぐくむ 学校・家庭・地域の連携

京都府
舞鶴市立中筋なかすじ小学校
全校児童数628名
(男子321名 女子307名)
電話番号 0773 (75) 0372

実践内容

実施目的

- ① 「とんぼクラブ」：スポーツ教室、文化教室等身近な学校施設を活用して学習・体験活動を行い、放課後における児童の居場所を確保するとともに健全育成を図る。
- ② 「中筋ジュニアスポーツ振興会」：保護者が中心になってスポーツ教室団体を組織し、スポーツを愛好する気風を育てるとともに児童の健全育成を図る。
- ③ 「クラブ活動まちの先生」：公募によりまちの先生を招聘し、教育課程に位置付けられたクラブ活動を教員とともに指導することにより、一層の指導の充実を図る。

実施内容

1 「とんぼクラブ」

- (1) 活動日…原則として平日の放課後に活動している。
- (2) 内 容…バスケットボールを週1回、2時間程度行う他、文化系クラブ・教室が5つある。
- (3) 対 象…クラブ員は、入部を希望する中筋小学校児童を対象とする。指導者は、保護者並びに地域ボランティアである。

2 「中筋ジュニアスポーツ振興会」

- (1) 活動日…平日の放課後、土・日・祝日に活動している。
- (2) 内 容…ジュニアスポーツ振興会を組織し、野球、サッカー、バレーボール、バドミントン、体操の5教室を開設している。
- (3) 対 象…中筋小学校児童を対象に、ジュニアスポーツ振興会を通して希望するスポーツ教室に入部する。指導者は、保護者並びに地域ボランティアである。

3 「クラブ活動まちの先生」

- (1) 活動日…月1回を原則に年間9回実施する。
- (2) 内 容…バスケットボール、サッカー、ダンスやゲームを取り入れたクラブをはじめ、文化系クラブ18を含めた21クラブを実施している。
- (3) 対 象…中筋小学校児童4～6年生の全児童がいずれかのクラブに入る。指導については、中筋小学校教職員と地域ボランティアが協力して行っている。

4 中筋学校支援ネットワーク委員会、中筋ジュニアスポーツ振興会総会・運営委員会、クラブ活動指導者連絡会

上記1～3の運営を円滑、適切に行うために、代表者会、担当者会等を年数回設定し、運営状況や改善点について交流・論議している。

また、「話と和と輪」「とんぼ」等の機関誌発行を通して保護者、地域並びに関係機関に広報し、理解と協力を呼びかけている。

実施上で工夫したこと

- ① 仕事や趣味で極められた知識や技能を教授いただく方を地域ボランティアとして人材バンクに登録するとともに、常に新たな人材発掘に努めた。
- ② 指導にかかわる事項については、教員と地域ボランティアが連絡を密にとり、一致した指導方針で指導するよう努めた。
- ③ 土・日・祝日の活動については、児童の過度な肉体的・精神的負担にならないよう各組織代表者と連絡を取り合った。

主な成果

- ① 運動が好きになり、体を動かすことを厭わない児童が増えた。
- ② 運動技能の上達や体力の向上を図るとともに、言葉遣い、挨拶等の礼儀を身に付けることができた。
- ③ 運動を通して仲間意識を高めることができた。
- ④ 運動を通じた地域ボランティアとの交わりの中で豊かなかわり方を学ぶと同時に、コミュニケーション能力を身に付けることができた。



中筋学校支援ネットワーク

各組織代表が集まり運営状況について論議



広報誌「話と和と輪」

年3回発行の学校支援ネットワーク広報誌

小学校



とんぼ「バスケットボール」

週1回地域ボランティアによる指導



「サッカー」クラブ

地域ボランティアによるクラブ活動の指導



「いい汗流そう」クラブ

地域ボランティアによるクラブ活動の指導



中筋ジュニアスポーツ振興会

年1回の総会と年5～6回の運営委員会



広報誌「とんぼ」

年2回発行のジュニアスポーツ振興会広報誌



中筋ジュニアスポーツ振興会主催の体験・交流会

いろいろなスポーツのよさを知る機会